



わたしじつは消防吏員



静岡県
静岡市消防局
望月 将悟

自然と対話、自分自身を探す旅

海拔0mから3,190mまで

私の勤務する静岡市消防局は東西に約73km、南北に約101kmにわたる広大な地域を管轄しています。その中において駿河湾から南アルプス間ノ岳(3,190m)までの山岳地域で起こった山岳救助・捜索にあたる当局唯一の山岳救助隊に所属しています。



山岳救助隊訓練模様 激流を登る



静岡市でも雪は降ります。山岳訓練雪山の様様

究極の山岳レースに挑む

富山湾に面する魚津市をスタートして、日本アルプス(北・中央・南アルプス)を縦断、静岡市の駿河湾をゴールとする総距離415km、登りの高さを合わせた累積標高26,000mを1週間以内に踏破するという山岳レースが2年に1度開催されています。私はその大会で現在4連覇中です。

判断の大切さ

このレースは誰からのサポートも受けることなく、テントや寝袋、食料、地図など全てを背負い昼夜を問わず進んで行きます。途中、筋肉の疲労や気象の変化、眠気や辛さ、進むかやめるかさへも、全て自分で判断します。これは、大災害時や不眠不休で活動する消防活動に役立つのではないかと思います。自然の中に身をおき、五感を鋭くしていくことはとても大切なことだと感じています。



山岳レース中、管轄する南アルプスを進む写真。まだゴールまでは150km